

# 研究所彙報 XIX

—1972.12~1973.11—

- 学会および研究会報告
- 〔日本地理学会大会〕 1973年4月5日 東京学芸大学  
「日本サルと焼畑」 千葉徳爾
- 〔日本民俗学会〕 1973年5月12日 上智大学  
「朝鮮半島の製茶技術の系譜」 松下 智
- 〔京都語研究会〕 1973年7月24日 聖母女学院短大  
「京都語の言語地理学的研究のために」 堀井令以知
- 〔新居町郷土文化研究会〕 1973年9月23日 中之郷清源院  
「萬葉集『安礼乃崎』について」 夏目隆文
- 〔愛知大学国文学会〕 1973年11月18日 愛知大学  
「J.ロドリゲスの日本語観」 中出 惇
- 〔曹洞宗教学研究創設20周年記念公開學術講演会〕  
1973年11月21日 駒沢大学大学会館  
「『曹洞土民』禪の展開と貴族主義」 鈴木泰山
- 〔日本民俗学会〕 1973年11月23日 京都国際会館  
「中国の製茶技術と民俗的系譜」 松下 智
- 〔愛知大学四研究所合同講演会〕  
1973年12月7日 愛知大学大学院  
「近世武家の先祖の観念——沼津藩T家の場合」  
坂井達朗

## 現 地 調 査

### 〔カメラヤ植物の分布調査〕

松下所員は1972年12月25日より1973年1月25日にかけて、インドのアッサムにおいてカメラヤ植物の分布調査を行ない、世界一の多雨地チャラプンシーには茶の木は分布せず、カメラヤキッシイ、カメラヤカウダータの分布が認められることを見いだした。

### 〔伊場遺跡調査〕

夏目所員は1973年1月21日伊場遺跡を守る会会長の竹内理三氏外30余名とともに浜松市東伊場において調査を行ない、遺跡付近に栗原駅家を伝置づける可能性を補強する成果を得た。

### 〔可睡斎僧録文書の調査と修復〕

歌川所員を主任として、鈴木泰山・坂井の両所員は本学村長利根朗教授、古瀬吉秀講師、河合正樹豊橋市史幹事、佐々木忠夫教諭（浜松日体高校）に特別参加として鈴木鋭彦教授（愛知学院大学）を加え、本学史学科学生10人らとともに1973年3月1日～4日（本年

で4回目)、静岡県袋井市可睡斎において全280冊の僧録文書の約4分の3を撮影し、また修復し、その一部を原稿化(200字詰2,000枚分)した。将来古文書集として出版を予定している。

〔狩猟習俗調査〕

千葉所員は1973年5月上旬および10月上旬の両度にわたり、石川県白山山麓・新潟県および山形県において調査を行なった。その成果は現在整理中である。

〔北上山地の崩壊に関する調査〕

千葉所員は1973年7月20日～28日および8月24日～30日にかけて宮古市および川井村において、水利科学研究所員および川井宮林署員らとともに、北上山地の崩壊に関する調査を行なった。まもなく崩壊の可能性についての報告書が出来上る予定である。

〔戦後における開拓農村の変容についての調査〕

牧野所員は1973年7月～8月にかけて豊橋市南部開拓地一帯において調査を行ない基礎的資料の蒐集を行なった。

〔漁村社会の変容についての調査〕

川越所員は1973年8月29日～31日にかけて牧野・坂井両所員らとともに越前、若狭湾一帯において調査を行ない、基礎的資料の蒐集を行なった。

〔山村の集団移住についての調査〕

坂井所員は1973年8月～12月の間、長野県飯田市松川入において山村の集団移住についての調査を行なった。

〔出作りについての調査〕

千葉所員は1973年9月上旬水上講師・学生らとともに長野県下伊那郡清内路村において出作りについての調査を行なった。

〔わが国の漁村における漁業構造の性格についての調査〕

島本所員は1973年9月21日～25日にかけて三重県海山町島勝浦において、わが国の漁村における漁業構造の性格——島勝大敷組合における“村張り”の構造——について調査を行ない、村張りの収益配分の条件に関して他に見られない、極めて厳格な本家・分家、その他の間の差別的配分体系が出来上っていることを見いだした。

〔「乎波里三十六歌仙」の研究〕

夏目所員は1973年10月10日、愛知県津島市本住寺において調査を行ない、編者 偃松院 諦霊と糟谷磯丸との交友関係および三十六歌人中、磯丸の「御名乗帳」にみえるもの、「鈴屋門人録」にみえるものなどについて新資料を得た。また「尾藩三十六詩偈」を見いだした。

〔地名調査〕

千葉所員は1973年10月上旬、石川県自然保護センター所員とともに白山山麓において調査を行ない、現在地図作成中である。

〔高井地区土地改良事業に伴う遺跡調査〕

井口所員は1973年11月6日より豊橋市教育委員会主催による豊橋市石巻高井地区土地改良事業にともなう遺跡調査に主任として参加し、弥生時代後期の土器片多数を採集し、現在なお継続中である。

## 著書・論文

### 〔久曾神所員〕

『後拾遺集日野本』（影印解題）汲古書院，1973年5月

『沙石集(-)』（影印解題）汲古書院，1973年10月

「勅撰集と古筆資料」中古文学論考『山岸徳平博士頌寿記念論文集』1972年12月20日

「藤原定家筆千類集」図書学論集『長沢規矩也博士古稀記念論文集』1973年5月

「源義経の書状」『かな研究』51号，1973年4月

「万葉集抄の古筆断簡」『かな研究』52号，1973年7月

「伝宗尊親王筆如意宝集切」『かな研究』53号，1973年10月

「如意宝集」研究資料，『久曾神昇博士還暦記念研究資料集』1973年5月

「麗花集」研究資料，『久曾神昇博士還暦記念研究資料集』1973年5月

「桧垣姫集」研究資料，『久曾神昇博士還暦記念研究資料集』1973年5月

### 〔坂井所員〕

「漁船経営と親族組織——三重県度会郡田曾浦の事例」『愛知大学文学論叢』第49輯

### 〔鈴木泰山所員〕

「可睡斎外史」『道光』（可睡斎），1973年3月～11月（1974年秋頃までに完了予定）

「曹洞宗教団略史」『跳竜』（曹洞宗大本山総持寺月刊誌），1973年7月～11月（1974年3月まで連載予定）

### 〔千葉所員〕

「1972年台風20号による豊川流域の塩風害」『地理学評論』46巻4号，1973年4月

「いわゆる『郷土研究』と民俗学の方法」『愛知大学総合郷土研究所紀要』第18輯，1973年3月

「茶の民俗」『植物と文化』8号，1973年9月

「手取川上流における狩猟者の組織とその活動（第一報）」『白山資源調査事業報告』，1973年3月

### 〔中出所員〕

「翻刻『穂久邇文庫本大学鈔』」『久曾神昇博士還暦記念研究資料集』，1973年5月31日

### 〔夏目所員〕

「萬葉集『二見の道』について」『愛知大学総合郷土研究所紀

要』第18輯，1973年3月

「万葉集『安礼乃崎』考」『同朋国文』，1973年4月

〔堀井所員〕

「意味論的経済について」『アカデミア』第92輯，1973年3月

「京都方言の諸相」『愛知大学総合郷土研究所紀要』第18輯，  
1973年3月

「ブルトン語の同音衝突」『ケルト研究』No.3，1973年4月

「『お湯殿の上の日記』における音声相の動態と表記」『音声  
の研究』第16輯，1973年4月

「フランス語の方言研究」『方言研究叢書』第2巻，1973年9  
月

〔松下所員〕

「背振山——日本茶の発祥地として」『植物と文化』第7号，  
1973年1月20日

「全国銘茶総覧茶の種類と製法」『植物と文化』第9号(別刷)，  
1973年9月

昭和48年度研究所組織

〔所 長〕	川越 淳二		
〔所 員〕	井口 喜晴	歌川 學	川越 淳二
	久曾神 昇	見城 幸雄	後藤 和夫
	近藤 恒次	坂井 達朗	島本彦次郎
	鈴木 泰山	鈴木 中正	田崎 哲郎
	千葉 徳爾	中出 惇	夏目 隆文
	堀井令以知	牧野 由朗	松下 智
〔運営委員〕	(庶務) 島本彦次郎		
	(企画) 歌川 學		
	(資料) 千葉 徳爾		
	(編集) 見城 幸雄		
〔事務委託〕	山本 朝子		